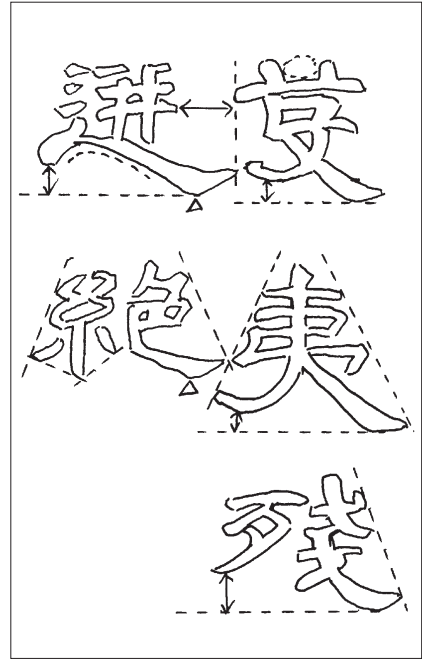


◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料420円



曹全碑 後漢

1、字句「進夷残進絶」

2、形式「半紙タテ使用。右に「進夷残」、左に「進絶」と臨書し、左下余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。

3、概観「隷書の特徴的な用筆のひとつに転折があります。楷・行・草書では、転折部は一筆で書きますが、隷書においては転折は区切って書きます。つまり、横画から縦画に移る時、一筆で書かず横画で一筆、筆を離して下から入筆し、縦画で一筆というふうに書きます。この転折にもいくつかの書き方がありますので原帖をよく観察して下さい。ポイントとしては、転折部とそれに続く縦画の角度です。縦画がどちらの方向に向いているか(向勢か背勢なのか)によって、起筆の逆入のしかたが異なります。

4、各字のポイント

「進」草冠の二点は少し離して。「夷」部は「又」のように書す。左払い

は収筆持ち上げるように。

「絶」上部を小さくまとめ左右の払いを大きく。転折は軽く添えるように。

「残」偏は少し上部にまとめ、隣の右払いの起筆は、下から入筆しからめて鋒先を上に向けて書くとい払いがスムーズに行える。

「進」之繞の収筆下から引き上げるようにし、曲線を描き徐々に圧を加え△でしっかり突き払う。

「絶」糸偏は稍曲線にて書し、隣の末筆縦画を引き一旦止まり、少し圧を加え、反動をつけて△部まで動き横に払う。



「進」之繞の収筆下から引き上げるようにし、曲線を描き徐々に圧を加え△でしっかり突き払う。

「絶」糸偏は稍曲線にて書し、隣の末筆縦画を引き一旦止まり、少し圧を加え、反動をつけて△部まで動き横に払う。

「残」偏は少し上部にまとめ、隣の右払いの起筆は、下から入筆しからめて鋒先を上に向けて書くとい払いがスムーズに行える。

「進」之繞の収筆下から引き上げるようにし、曲線を描き徐々に圧を加え△でしっかり突き払う。

「絶」糸偏は稍曲線にて書し、隣の末筆縦画を引き一旦止まり、少し圧を加え、反動をつけて△部まで動き横に払う。

「進」之繞の収筆下から引き上げるようにし、曲線を描き徐々に圧を加え△でしっかり突き払う。

「絶」糸偏は稍曲線にて書し、隣の末筆縦画を引き一旦止まり、少し圧を加え、反動をつけて△部まで動き横に払う。

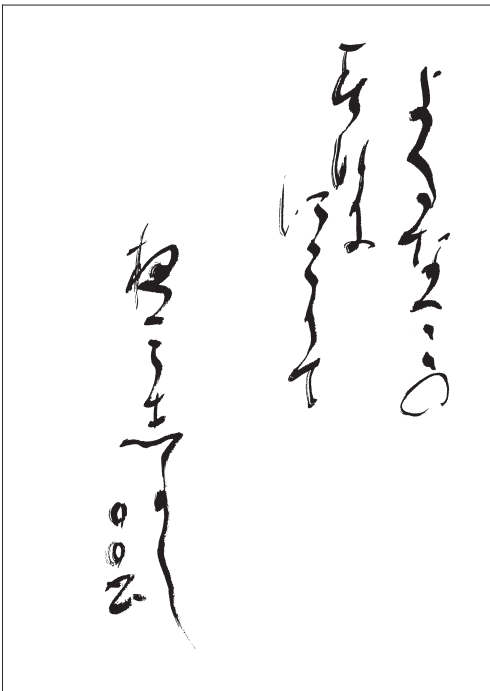
半紙課題(予告) (六月二十二日締切)



平岡華雪先生書 発憤して食を忘る。(論語)

訳：やむにやまれぬ求道心をおこして食事も忘れて熱中する。

平岡華雪先生書 よる波の砂に濁りて夜みじかし(乙二)



研究部総覧

高橋 香樹

二十四年度研究部の成績が発表されました。今回は、大賞に梅林寺爽葉さん、町田煌月さん、準大賞に本沢優香さん、福田香陽さん、漢字部門賞に田中胡秋さん、かな部門賞には岩本抱水さんと笹崎久汀さんが受賞されました。

大賞の梅林寺爽葉さんは、過去に次点を二度、漢字部門賞を三度受賞されており、その実力は衆目の一致するところであり、満を持しての大賞受賞。今後も精進し活躍されたい。同じく大賞の町田煌月さんは、やはり、過去に次点二度、漢字部門賞を一度受賞。梅林寺爽葉さんとはよきライバル。切磋琢磨し書道を盛り上げて戴きたい。準大賞の本沢優香さんは、初めての受賞だが、漢字・かな共によくする人。新しい力の台頭

を歓迎したい。同じく準大賞の福田香陽さんは、過去に大賞一度、準大賞一度、かな部門賞一度と研究部では確かな足跡を遺しています。また、指導者としても評価の高い人。漢字部門賞の田中胡秋さんは、初めての受賞。今回、次点にも名を連ねていますが、九回出品での次点。十回皆出品していれば、大賞、準大賞も夢ではなかったと思われます。かな部門賞の岩本抱水さんは、去年の大賞に続く受賞。同じくかな部門賞の笹崎久汀さんは、過去に準大賞一度、次点六度。本年度は大賞を受賞したところ。

研究部出品者が減少傾向にあることは残念でなりません。研究部は真の実力を磨く絶好の場。多くの方のチャレンジを期待しています。

第一回学生書道指導者の会に参加して

石島 柏美

二月十七日、はじめての「学生書道指導者の会」に出席いたしました。現在学生を指導されている支部長先生と、これから学生の指導を志している方あわせて二十五名の参加がありました。

鈴木静村会長、高橋香樹主幹のご挨拶で始まり、指導法について石田愁華先生、落合江華先生、福田香陽先生の三支部長より報告がありました。大勢の学生達への行き届いた熱心な指導法をうかがい、自分に足りない点が解

お話は、子供達の優秀作品を見て納得いたしました。鈴木会長のお話の「電信柱のようにまっすぐ筆を立てて持つ」という用筆法は自分の教室の子供達に早速教え、活用しております。最後は平岡不二子先生のご挨拶で終了となりました。高橋香樹主幹所有の拓本、写経、貴重な書の数々が飾られ鑑賞することができ、大変勉強になった一日でした。教室運営についての工夫や悩みなど他の支部からのお話をさらけ出さうかがいたいと思いましたが、今後又このような場を開いて頂き、交流を深めて学生達の書の向上に尽くしてまいりたいと思います。



中央 石田愁華先生、福田香陽先生



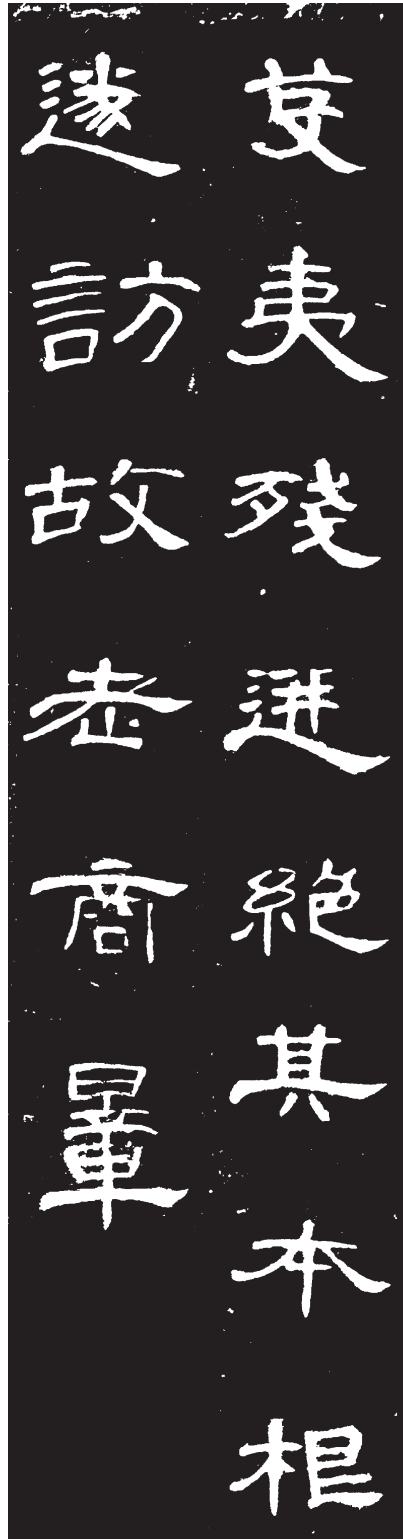
落合江華先生のお手本見本



高橋香凌先生

かり参考に なりました。 学生部の硬筆手本を担当されている高橋香凌先生の「大きく、濃く書く」との

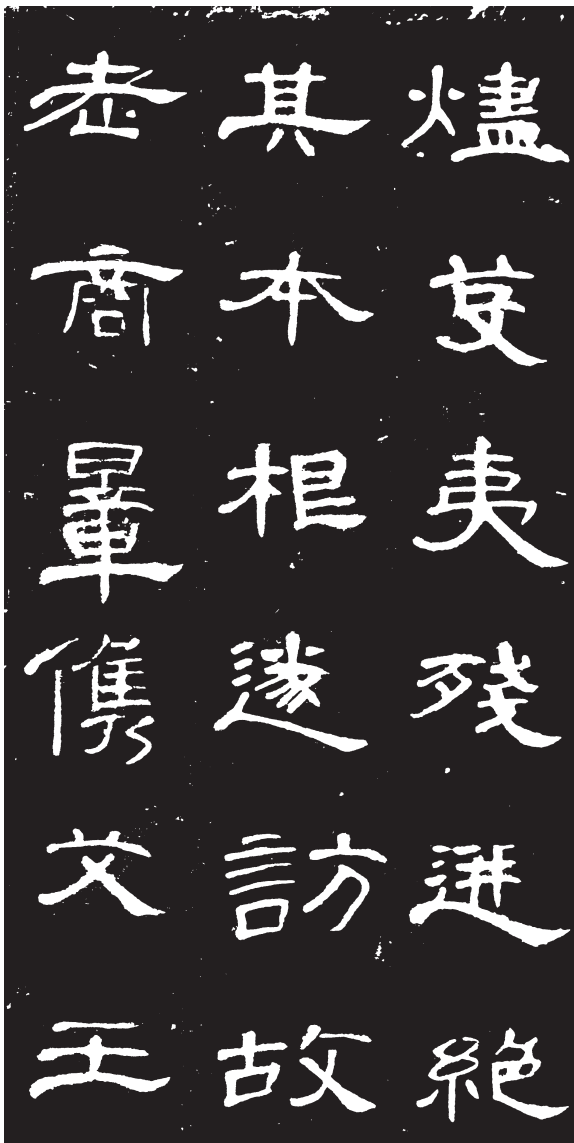
曹全碑



斐夷殘迸。絶其本根。遂訪故老商暉

(殘迸を)

斐夷し、其の本根を絶つ。遂に故老の商暉、



条幅臨書部は半紙臨書部と連動しています。半紙に取り組んだ方は是非条幅にもチャレンジしてください。また条幅だけ出品も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「〇〇臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。

◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A
鈴木静村書

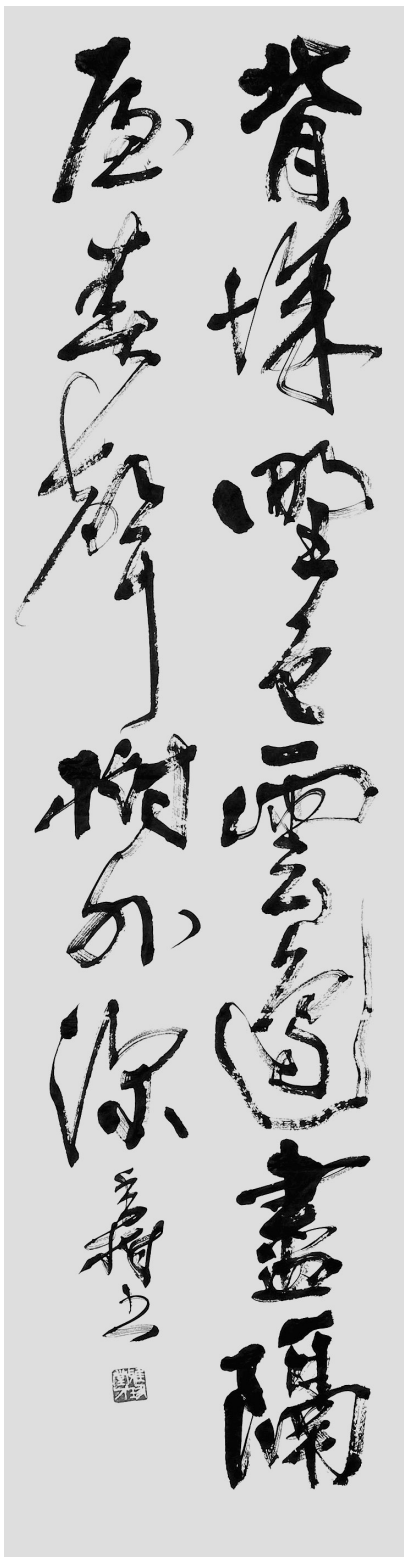
背城野色雲邊盡 隔屋春聲樹外深 (王安石)
城を背にするの野色雲辺に尽き、屋を隔てるの春声樹外に深し。



B

高橋香樹先生書

どう見ても平々凡々。まともな筆調ながら、あまりにも単体表現に過ぎ、字間の意連に乏しい。これでは条幅の基本であるタテへの流れに欠ける。脈々とした動きを適宜注入されるよう、各自で変更してほしい。細部について、「二行目「色」点は大體この位置に最後に打ったが、打たなくてもよい。「邊」この字体は楷・行書だけでも10通り以上。字典で各自に即したものを選択されるとよい。



連綿は三ヶ所と多くはないが、縦画の処理によって流れを作り出すことができるのではと思います。「城」の縦画は右に、「春」の縦画は左に、「聲」では、右に傾ける。これらと三ヶ所の連綿との相互作用により流れに変化を。墨継ぎは「盡」と「樹」。
訳：野原は城の向こうはるか雲のただよう辺りまで広がり、鳥たちは家の近くで盛んに鳴いている。

予告 (六月二十二日締切)

空翠山遙藏古寺

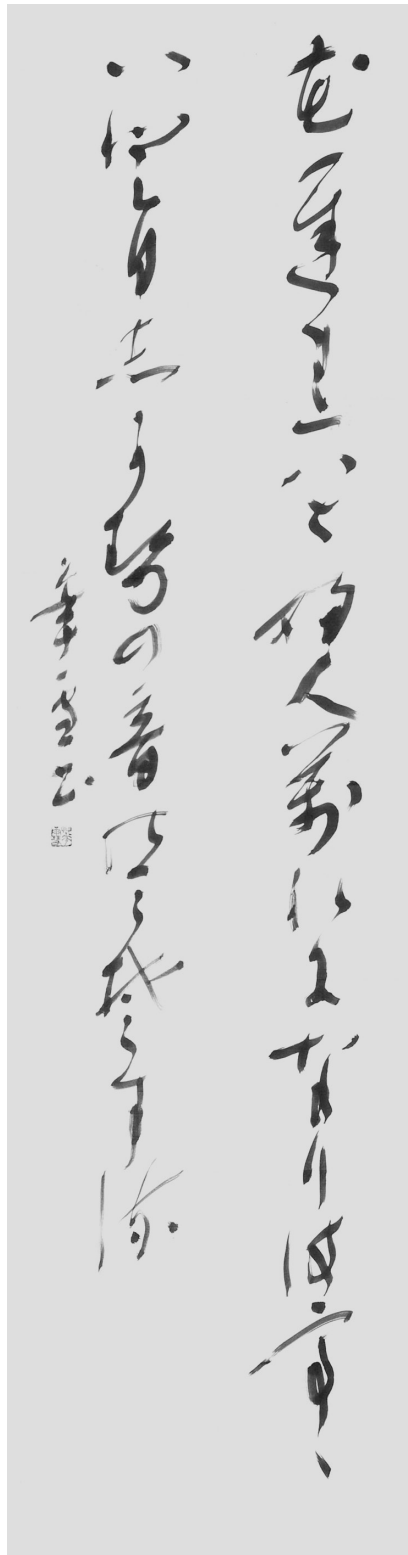
平蕪路遠没春流 (夏目漱石)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

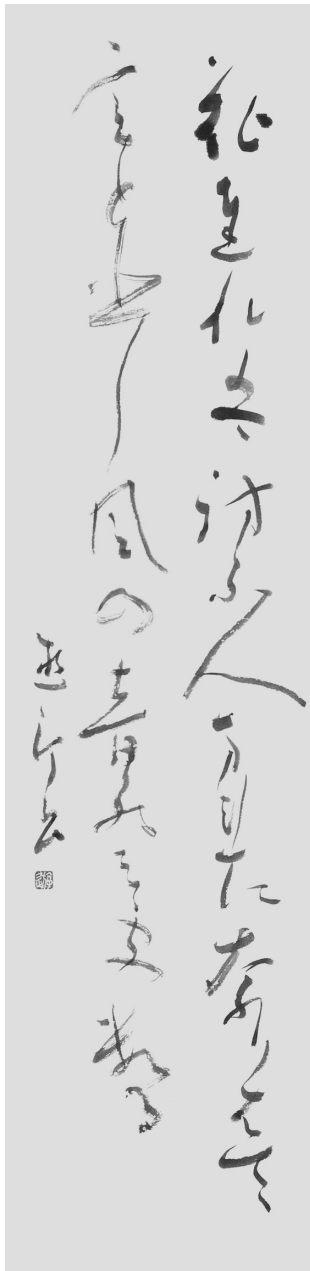
花ちれば訪ふ人まねになりはてていとひし風のをとのみぞする (新古今和歌集 刑部卿範兼)
花遅連八と婦人萬れルなりは亭、い登日志可勢の音能三楚す流



B

立川遊汀先生書

花遅れ盤訪ふ人万連に奈り者て、意と悲し風の音能三楚数る



歌意
歌題「花落ち客稀なり」とあり、花を吹き散らした風ばかりの訪れを聞く恨みがましく、わびしさを表した歌。

学び方

再び関戸本古今集の倣書としました。やや丸味をおびた字形で、ゆったりとしたリズムミカルな運筆、強くねばりのある線、筆鋒の上下運動による筆圧の変化など、私の感じた関戸古今の特徴を踏まえた上で、直筆で書きました。(関戸古今の場合、俯仰法など変化に富んだ運筆といわれていますが)。

参考に、直筆で運筆したと思われる、私の好きなリズムの部分(左)に掲載いたしました。

こよろぎの磯たちならし磯菜摘むめざし濡らすな沖にをれ波 (巻20—1094)
むめざしぬら春なお支にをれな三



予告 (六月二十二日締切)

花ちりし庭の木の葉もしげりあひて天てる月のかげぞまれなる (新古今和歌集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

条 幅 部 随 意 参 考

小暮 崧華 先生 書

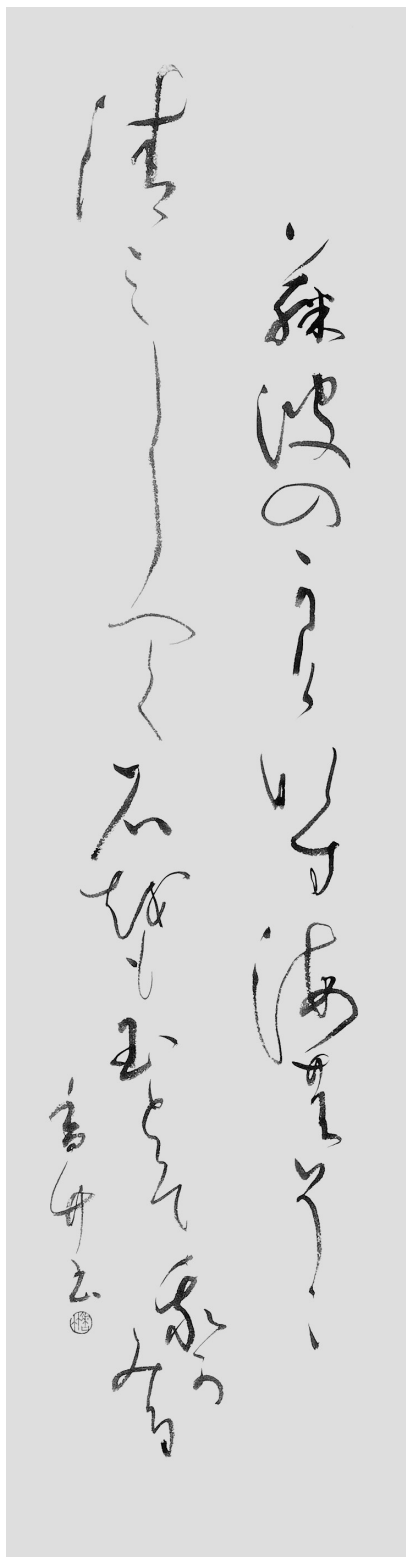
野寺分晴樹 山亭過晚霞 春深無客到 一路落松花（山行 施閨章）
野寺晴樹分枝、山亭晚霞過ぐ。春深くして客の到る無く、一路松花落つ。



訳：野寺には木々が日にくっきりと映え、山亭には夕暮れのもやがただよう。このあたり、春色深く、たずねる人もなく、路行けば松花が静かに落ちるのみである。

青柳 香竹 先生 書

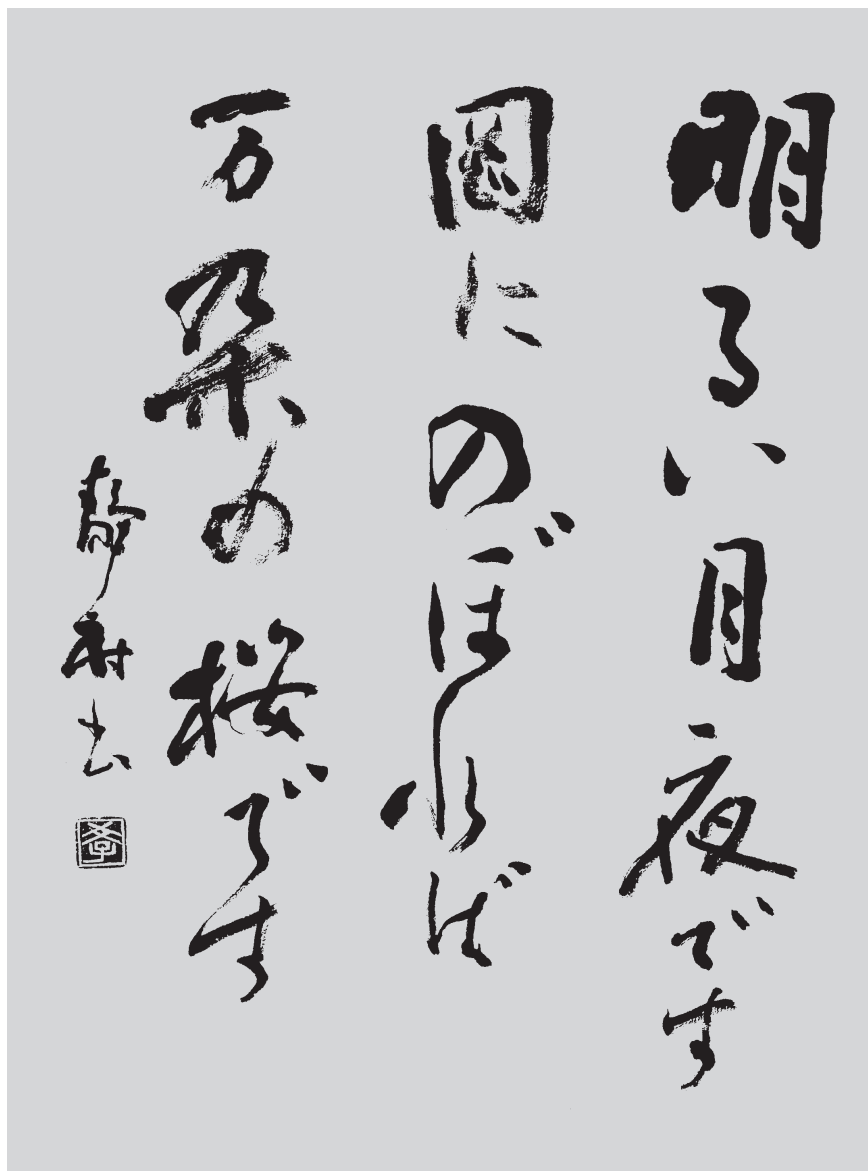
藤波の影なす海の底清みしづく石をも玉とそ我が見る（万葉集 大伴家持）
藤波の可介那す海農曾し清三しつ久石越も玉とそ我可みる



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

○詩の冒頭、三行抜粋。文末の「です」の繰り返し、童話的雰囲気をつくらせている。ことしの開花は例年になく早いとか？ソメイヨシノに寄せる、古来からの大和ごころに満たされる日も間近い。
○十九文字、三行作。腕を上げ、大書してほしい。潤濁の表出に留意、特に墨継ぎは明確に効果的に。落款は左余白を睨み、課題に準じて書き入れる。



明るい月夜です
岡にのぼれば
万葉の桜です

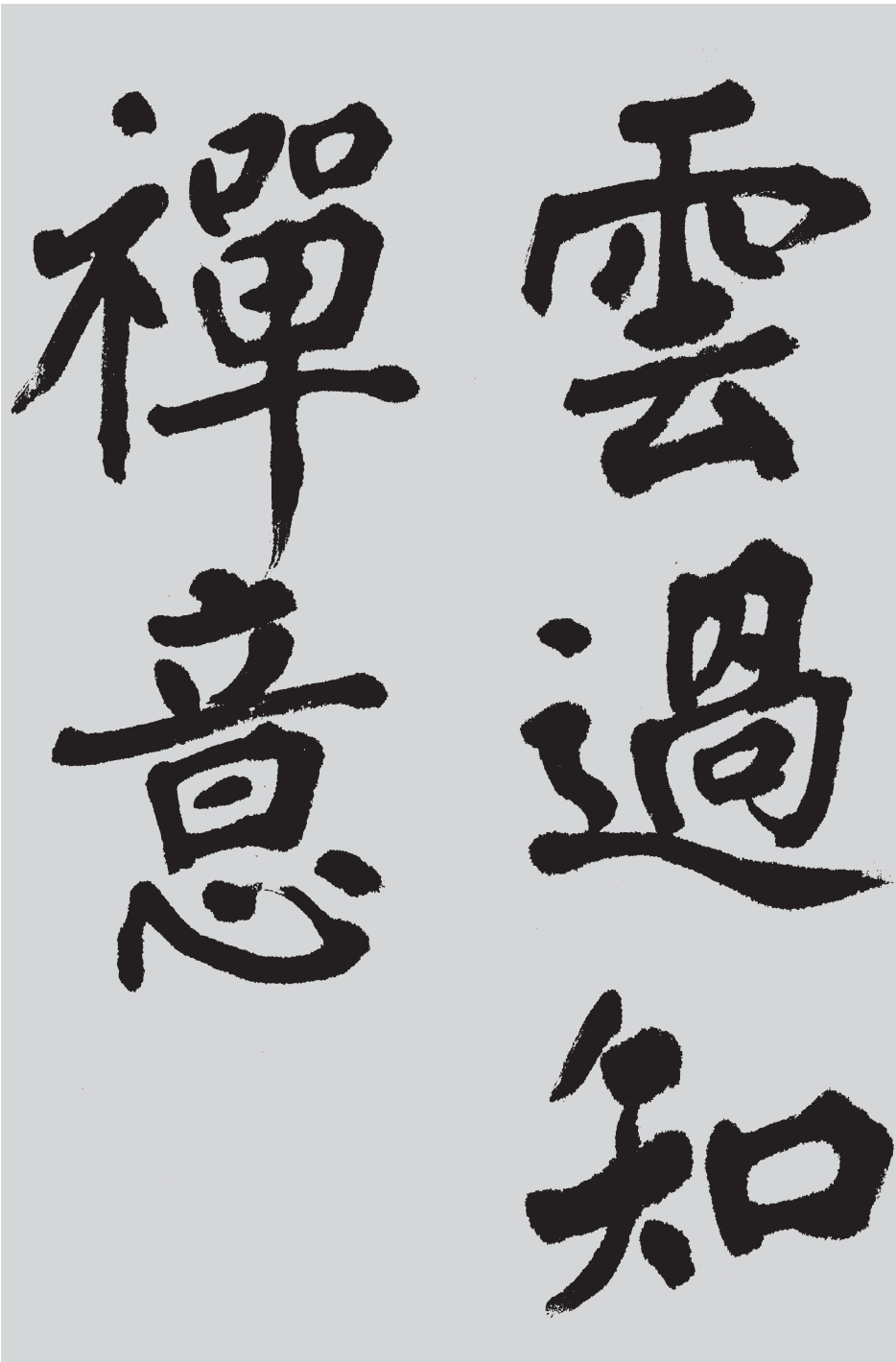
(井伏鱒二)

○万葉ばんが たくさんの
枝葉。

「朶」 木の上部に
枝葉が茂っ
ている形。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



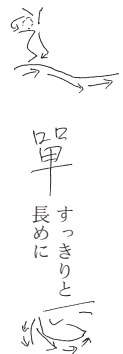
平岡華雪先生書

雲過ぎて禅意を知る。(莊宝書)

訳：雲が眼前をすぎるのを見ても禅の意を知ることができる。

〔基本の徹底を〕
 「之繞」「懸針」「下心」というむずかしい書き方のある字の課題です。

この三つは特に大切に、十分な練習を必要とします。快筆の成果を期待しています。



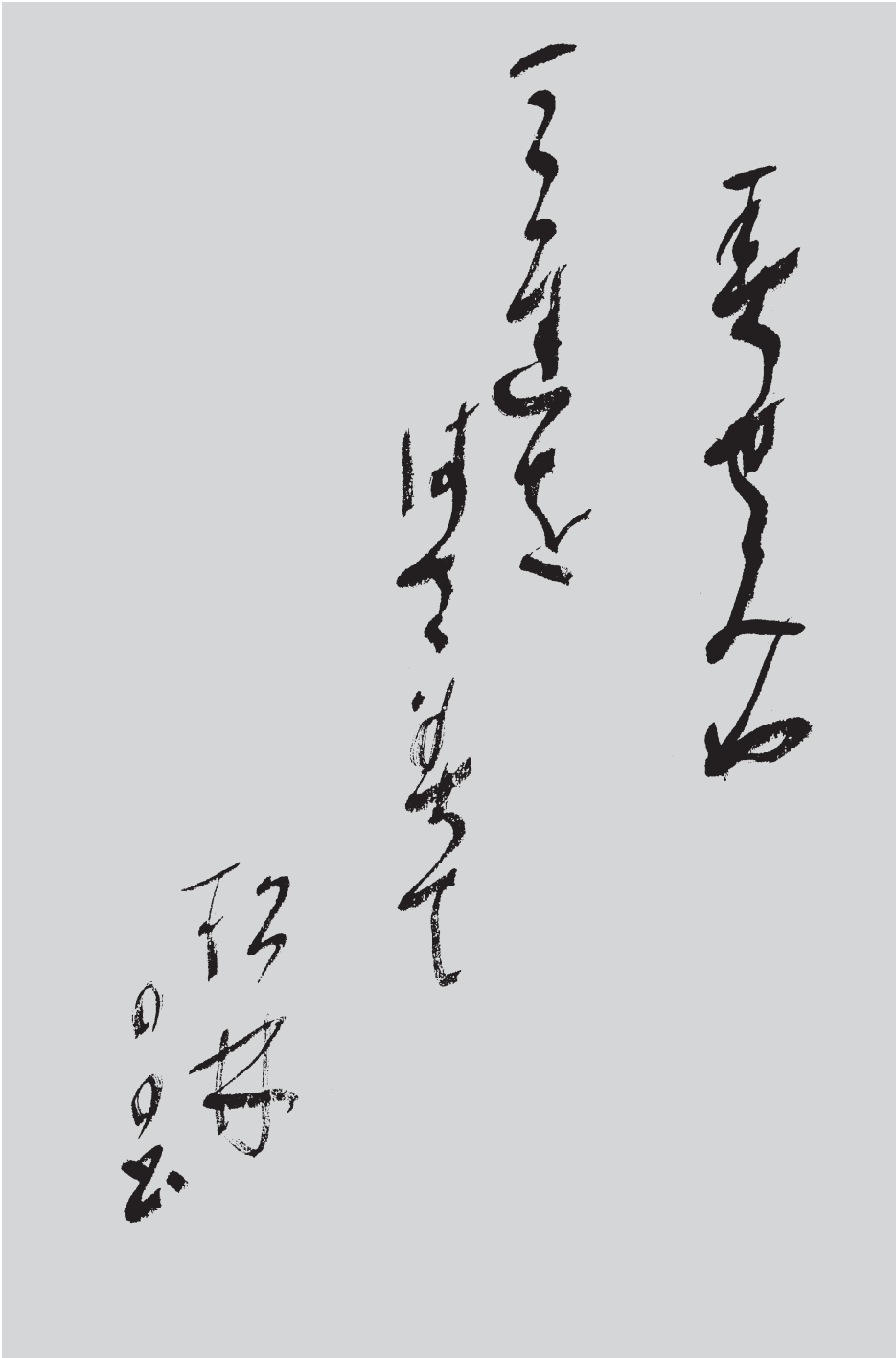
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

春せみや道をはさみて松林（虚子）
春せみや三遅をはさみて松林

〈異質な線条の表出を〉
かなは簡略書体ですから、遊糸連綿ですらすらと書いただけでは深みと味わいは遠い。大切なことは異質な線を、どう表出するかです。例えば、「はさみて 松林」の線質に注視。

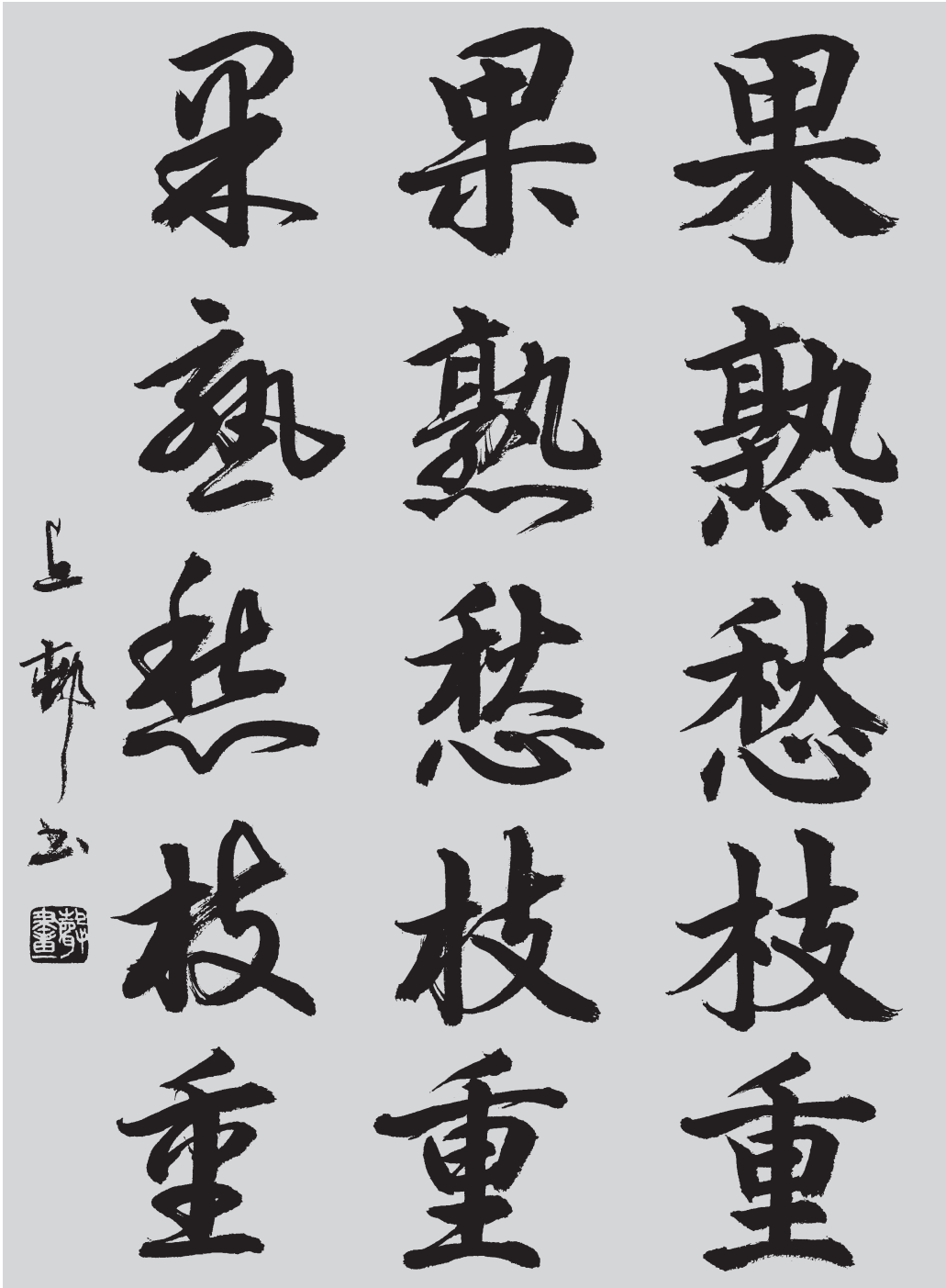


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

戸張丘邨先生書

果熟愁枝重（韓琦）
かじやく えだ おも
果熟して枝の重きを愁える。
うれ

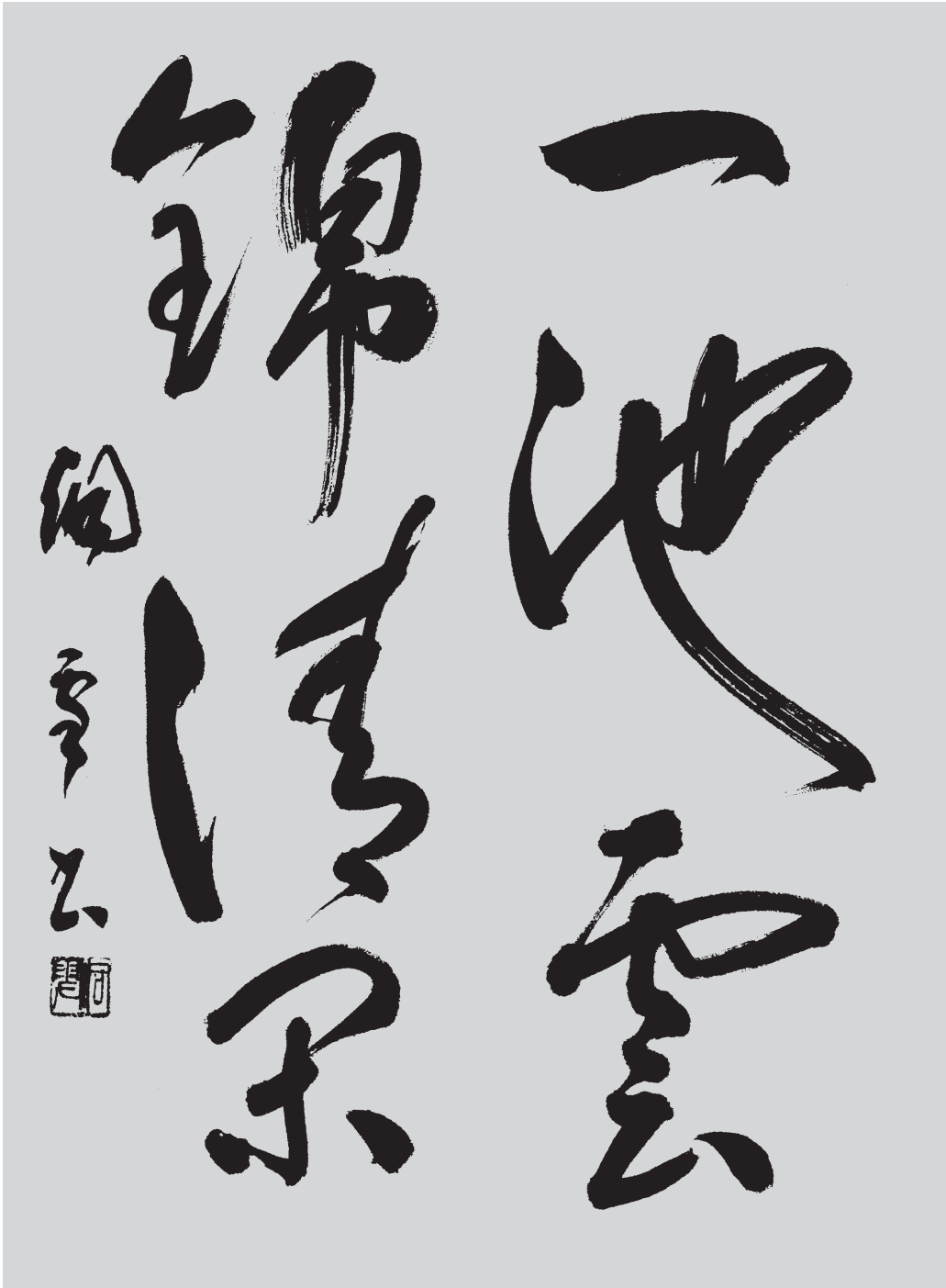


訳：初夏の光景である。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

加藤洞雪先生書

一池雲錦清閑（王梅溪）
一池の雲錦清閑。



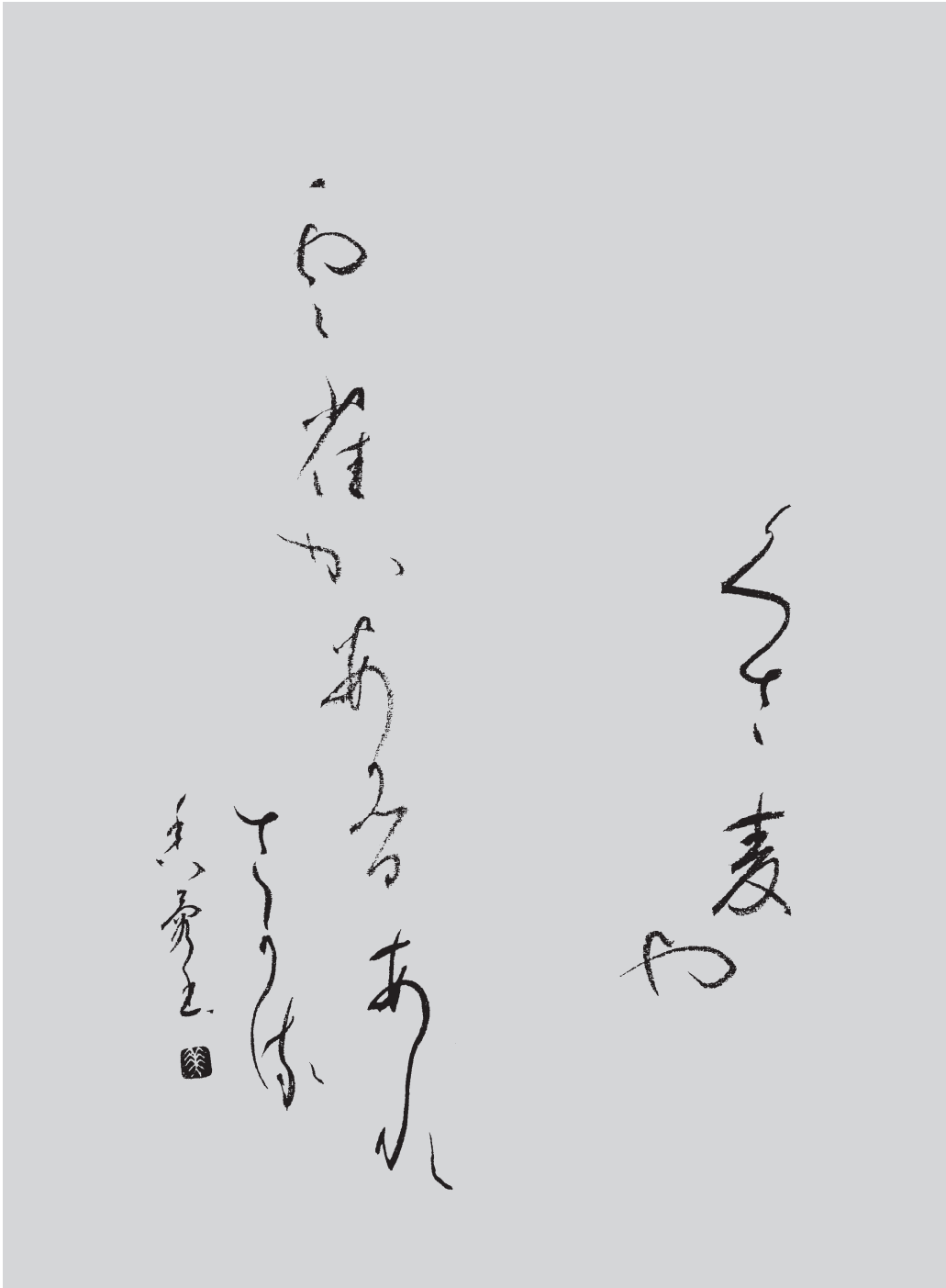
訳：池一面に映ずる朝霞は清くも閑かである。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

随 意 部 参 考

川上香蓉先生書

草麦くさむぎや雲雀ひばりがあがるあれ下がるさ（鬼貫）
久くさ麦や雲雀か安あ可か留るあれさ可か流る



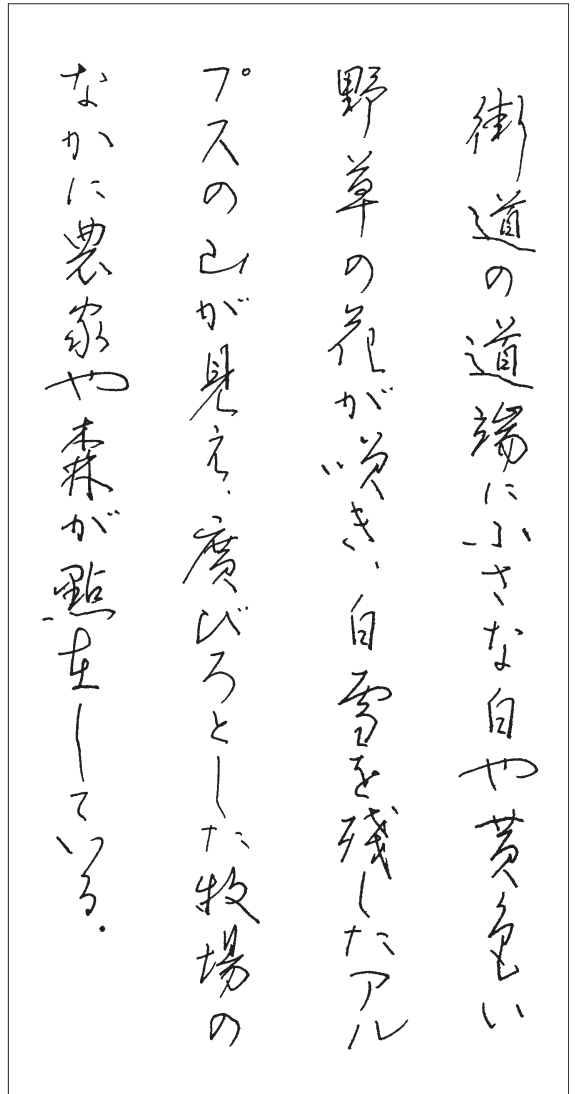
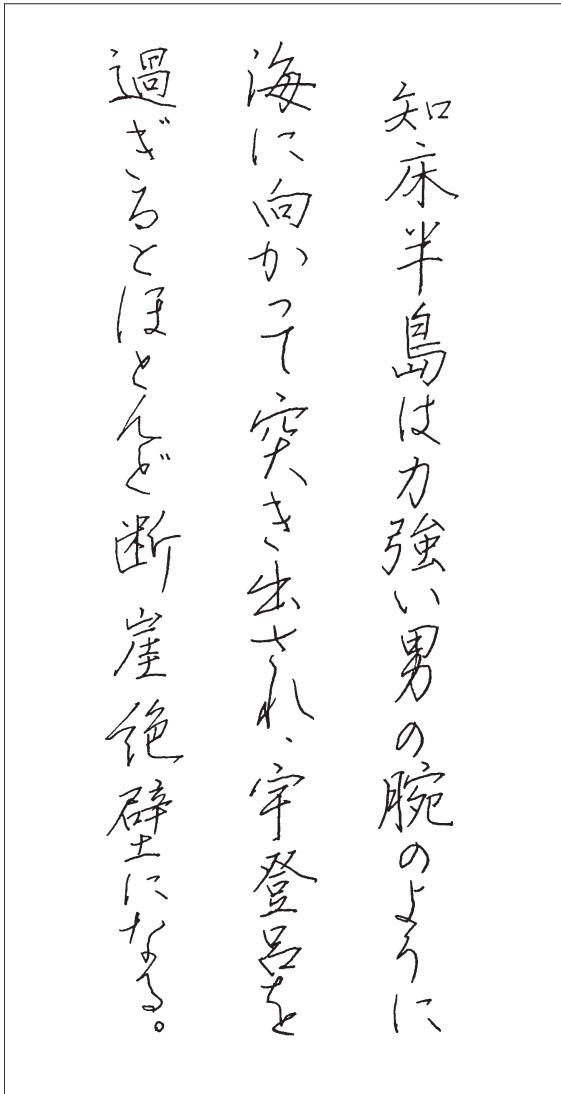
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。審査料九四五円

課題1 (初段階以上)

街道の道端に小さな白や黄色い野草の花が咲き、白雪を残したアルプスの山が見え、広びろとした牧場のなかに農家や森が点在している。

「佛蘭西「田舎」遺聞」吉岡達夫

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四二〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

知床半島は力強い男の腕のように海に向かって突き出され、宇登呂を過ぎるとほとんど断崖絶壁になる。

「知床丸太小屋日記」立松和平